

## 1. 〈短期展望〉 (p. 1)

### ① [実質年率7%成長は?]

最近政府発表の経済統計の信頼性が揺らいでおり、実質年率7%成長も確かかどうかは疑わしい。デフレは加速し、個人破産件数も大幅に増加している。一部の弱者切り捨て的な景気回復が進行中なのである。

### ② [消費税20%を狙う財務省]

今後、財務省主導で消費税率アップが実施される。財務省は、財政再建の目途が立った段階で「政府発行通貨」などの景気回復策に本気で取り組む意向だが、タイミングを逸した政策の効果は大幅に薄れるであろう。

### ③ [1ドル=95円を覚悟すべし]

財務省は円=ドル為替の一応の抵抗線を1ドル=100円としているようだが、ブッシュ政権が選挙対策でドル安容認を示唆すれば、今年中に1ドル=100円割れも十分に有り得る。

## 2. 展望① 〈日本政府の債務（借金）はどうか〉

(p. 4)

### ① [日本政府の国債残高600兆円]

### ② [日本国の債務超過は1,400兆円]

### ③ [日本政府は倒れない、パニックはない]

### ④ [円高に備えよ!]

## 3. 展望② イラク情勢と日本 (p. 11)

### ① [アメリカの脱出と国連関与]

### ② [大中东ヘルシンキ構想]

### ③ [自衛隊とイギリスの日米離間策動]

## 4. 展望③ 我が国のイラン・アザデガン油田開発を黙認する米ブッシュ政権の深慮遠謀 (p. 16)

米ブッシュ政権は、日本（アザデガン油田開発）やロシア（ブシェール原発建設）などイランでの経済的野心を巧みに利用しつつ、イランにその核開発計画を放棄させようと水面下で交渉中である。